

船舶関連事業を持続可能にするための 小型船舶向け自律航行技術の『更なる実装展開』を目指す

採択事業者名 株式会社エイトノット

コンソーシアム構成員 株式会社しまなみ

県内拠点設置 なし

所在・役割

事業概要

1. 事業の狙い

当社が提供する自律航行システムを愛媛県内の他事業者へ横展開して実装することで、海事船舶業界におけるDXを促進する。

2. 県内のターゲット事業者

小型船舶運航事業者

3. 紐づく課題

技術導入の遅れによって、船舶の運行を経験と勘に頼っていることが原因である。船長に求められる責任範囲も広範におよび、属人化された知識と技術の継承も困難なことから、若い世代の育成・定着が進まず、将来的な人手不足が懸念される。

4. 実施内容

11月 - 1月：船舶視察（計3回）
11月 - 1月：自律航行システム設置位置検討
1月：今治でAICAPTAIN機器取付
1月：大島周辺海域で株式会社しまなみ様と自律航行に向けた航行データ取得
2月：大島周辺海域で株式会社しまなみ様と自律航行試走（隔週、計4日）
3月：大島下田水港で株式会社しまなみ様と自律航行船舶お披露目会及び勉強会実施



解決策(サービス/プロダクト)

小型船舶に対し、当社開発の自律航行プラットフォーム「エイトノットAICAPTAIN」を搭載することで、船長の操船に対する負担を軽減するとともに、操船に不慣れな船長でも安全に目的地までの航行を可能とする。



デジタル活用の要素

取得データ

- 船員の業務変化・作業時間の変化
- 勉強会での事業者からのヒアリング・アンケート

データ活用による考察・示唆

自律航行中において、船長の操船に従事する時間が軽減されることが確認できた。また、国内有数の航海の難所として知られる来島海峡に挑戦することで当社システムへの期待値、信頼の向上も確認できた。
今後、来島海峡内の航行可能範囲を拡大することで、船長の労務負担の軽減や当社ソリューションに対する信頼性向上に繋がると考えられる。

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前		実装後(～今年度末)		今後3年の見込み (～2028年3月末時点)	
経済効果	旅客数増加率(15%):1800万円 運航人員省力化:1500万円 広告効果:3129万円		➤ 1.4億円		➤ 2.0億円	
			2022年度:1社 2023年度:1社 2024年度:2社		事業者数累計:3社→4社→5社 旅客以外のユースケース(海洋土木の作業船等)を中心とした展開	
KPI進捗	【KPI ①】 旅客数の昨年対比	15%	3月末に改めて報告	別途	-	
	【KPI ②】 事業先の拡大	2社	見込み顧客拡大	4社		
	【KPI ③】 運航人員の省力化	1名	法律上は0名は不可 1名の省力化は可能	1名		
デジタル人材輩出	輩出内訳の見立て 【アクティブ】 - 実装船舶の主たる船長数 【ポテンシャル】 ①導入事業者のスタッフ ②機器導入検討事業者 【関心層】 - 勉強会参加企業(今年度末)		【アクティブ】 1社×2名	2名	【アクティブ】 1社×6名	6名
			【ポテンシャル】 ①1社×6名	6名	【ポテンシャル】 ①1社×6名 ②30社×1名	36名
			【関心層】 10社24名	24名	【関心層】 30社×2名	60名
定性的/非連続な価値 (具体的な行動変容/組織変容など)			具体例 実装先事業者代表より「このシステムを導入することで、船長の負担が軽減される。また航行の安全性を機械がサポートするだけでなく、人の目による確認も併用し、より高い安全性を実現できる。」とコメントを頂いた。			

新規実装・協業に至った事例※県内

協業	イワキテック(株)	出資
----	-----------	----

その他の“for 愛媛”要素

バリシッパ2025への出展

2025年5月に今治市で開催される国内最大規模の海事業界向け展示会への出展を予定。